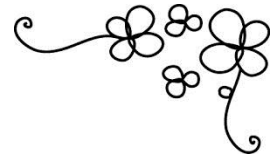


作家と楽しむ読書会



# 「吉村昭『破船』」を読む



江戸時代、岸に近い海につらなる岩礁で魚や貝、海草を採る小さな貧しい村では、年季奉公（身売り）が家族を飢えから守る方法だった。

父が3年の年季奉公に出ていた9歳の伊作は、村で「お船様」の恵みと呼ばれるものが、航行する船の難破によってもたらされた積荷だったことを知る。

と き 平成28年10月8日（土）13時30分～15時

場 所 図書館 3階 会議室

座 長 作家 重田 昇先生（四街道市在住）

後援 四街道稲門会

申し込み 図書館1階・一般室 ※先着15名

テキストの  
貸出 蔵書2冊のほか、千葉県立図書館の読書会用図書  
「十冊文庫」を9月中旬より貸出いたします。

（十冊文庫は先着10名、一般室にて予約受付）

問合せ 四街道市立図書館 Tel423-6443

読書会で深めませんか  
読書の楽しさと表現力



#### 四街道市立図書館の読書会

当館の読書会は、同じ一冊の本を事前に読んでいただき、読後の感想を交換し合うものです。必ず、テキストである「破船」吉村昭（著）を読んで、ご参加ください。

「破船」吉村 昭 著

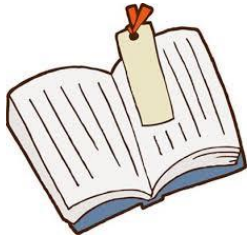
吉村昭自選作品集 第7巻 1991 所蔵あり 918.6 ヨ

新潮文庫版 (240p) 2012 所蔵あり B913.6 ヨシ

筑摩書房版 (十冊文庫) 1982 県立図書館から取り寄せます

※十冊文庫とは、読書会の利用のために同じ本を10冊揃えた

千葉県立図書館の蔵書です。当館を通して貸出ができます。



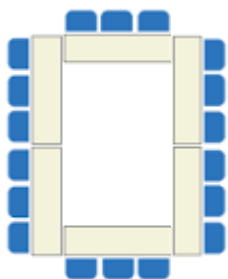
多くの読書会に参加した経験を持ち、文学に造詣の深い作家を座長に迎え、作品の背景や解釈のポイントを学びながら、読後の感想を分かち合います。

普段、読書は一人で楽しむ場合が多いものですが、感じたことを他の人に伝えることもまた、楽しいものです。

感想を改めて言葉にして、他の人に伝える経験、自分とは違う解釈にふれることは、きっと新鮮な魅力や驚きを得られることと思います。



参加者の舵取り役として、知識・経験豊富な座長がいる読書会です。初めての方も気軽に、安心してご参加ください。



読書会では、机を長方形の口の字に配し、お互いの顔がよく見えるようにお座りいただきます。少人数の読書会で、頼れる座長もいます。緊張せず、自由にご自身の考えを発表してください。

読書会は、複数で読書の楽しみを分かち合い、深める  
コミュニケーションの場です。



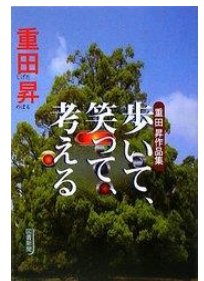
当館で初めての読書会です。和やかな読書の輪が広がることを  
願っています。



### ◆座長紹介

重田 昇（しげた のぼる）

昭和22年、徳島県生まれ。  
早稲田大学在学中より創作活動を始め、  
「早稲田文学」等に作品を発表。  
昭和47年、長編小説「風の貌」を三交社より出版。



### ◆四街道市立図書館所蔵作品

書名	出版者	請求記号
○△□	情報センター出版局	913.6 シゲ
死の種子	情報センター出版局	913.6 シゲ
歩いて、笑って、考える	図書新聞	914.6 シ

### ◆座長からのひとことアドバイス



話すことに慣れていない場合は、  
あらかじめ感想のポイントを  
メモにまとめておくのもよい手だてです。

